

<b>アクリナトリン水和剤</b> <b>アーデント水和剤</b>	<b>取扱メーカー：</b> 日農，バイエル  <b>原体メーカー：</b> FMC
<b>成分：</b> アクリナトリン〔ピレスロイド系〕……………3.0%	<b>性状：</b> 類白色水和性粉末45μm以下 <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> ——

### 【品目特性】……………

- 幅広い殺虫スペクトラムを有し，果樹，野菜，茶などのチョウ目，カメムシ目の他，アザミウマ類，ハダニ類など主要害虫に高い活性を示す。
- 接触作用により速効的に強い殺虫力を示す。（ノックダウン効果）
- 光などに安定で優れた残効性を示す。
- 特異な忌避作用（摂食阻害，産卵抑制など）を有する。
- ミカンキロアザミウマにも有効な合成ピレスロイド系薬剤である。
- 温度の高低に関係なく安定した効果を示す。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】……………

- 害虫の発生初期を中心に，作用性の異なる他剤との体系防除が望ましい。
- ハダニ類に対しては連用をさけ，作用性の異なる薬剤との輪番で使用し，年間の使用回数もできるだけ少なくする。

### 【薬効・薬害等の注意】……………

- マンゴーに使用する場合，着色期以降の散布では果実に汚れを生じるおそれがあるので十分注意する。
- 共通注意事項8．適用作物群に関する注意事項を参照。

### 【安全対策上の注意】……………

- 共通注意事項7．ミツバチに対する注意事項を参照。
- ミツバチに対して影響があるので散布直後から2日後まではミツバチを移動させるか，巣門を閉じる。
- 眼に対して刺激性がある。
- 皮膚に対して刺激性がある。
- 摘果等の作業の際は農業用マスク，手袋，長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。
- のど，鼻，皮膚を刺激する場合やカユミを生じる場合があるので注意する。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。





作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	アクリナトリンを含む 農薬の総使用回数			
ト マ ト	オオタバコガ	1000 倍	150～ 300 ℓ	前日まで	3回以内	散布	3回以内			
ミニトマト	ミカンキイロアザミウマ				2回以内		2回以内			
ピーマン とうがらし類	アブラムシ類 ハダニ類 ミカンキイロアザミウマ		150～ 500 ℓ	前日まで						
アスパラガス	オオタバコガ アブラムシ類 カメムシ類									
食用ぎく	アブラムシ類 ハダニ類 ミカンキイロアザミウマ ハスモンヨトウ ヨトウムシ		150～ 300 ℓ	発生初期 但し、 収穫14日 前まで	1回		1回			
	しそ科葉菜類		ハダニ類	100～ 300 ℓ	3日前まで 7日前まで		2回以内			
パセリ	ネギアザミウマ									
茶	チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ チャノホソガ カンザワハダニ ヨモギエダシヤク		200～ 400 ℓ	摘採14日 前まで	3回以内		3回以内			
	きく		アブラムシ類 ハダニ類 ミカンキイロアザミウマ	150～ 300 ℓ	発生初期		5回以内	5回以内		